



®環境省
エコアクション21
認証番号 0003262

エコアクション21 令和05年度 環境経営レポート

水と、人と、環境と。

～次世代の子供たちのために地球環境を考えます～



熊本利水工業株式会社

対象期間 (令和5年6月1日～令和6年5月31日)
レポート作成日 (令和 6年11月 25日)

第17版

1.経営理念・環境経営方針	P2
2.会社概要	P3-4
3.認証登録の対象組織・活動	P5
4.実施体制	P6
5.全部門目標と環境管理委員長の各部門ごとのアプローチ	
5-1. 令和5年度環境目標と取組の方向性	P7
5-2. 取組結果ならびに評価、および次年度の取組	P8
6.本社の環境取組活動	
6-1. 中期環境目標	P9
6-2. 環境活動計画	P9
6-3. 令和5年度環境目標とその実績評価	P10
6-4. 取組結果ならびに評価、および次年度の取組	P10
7.植木事業本部(事務所、工場)の環境活動取組	
7-1. 中期環境目標	P11
7-2. 環境活動計画	P11
7-3. 令和5年度環境目標とその実績評価	P12
7-4. 取組結果ならびに評価、および次年度の取組	P12
8.菊池支店の環境活動取組	
8-1. 中期環境目標	P13
8-2. 環境活動計画	P13
8-3. 令和5年度環境目標とその実績評価	P13
8-4. 取組結果ならびに評価、および次年度の取組	P13
9.有明支店の環境活動取組	
9-1. 中期環境目標	P14
9-2. 環境活動計画	P14
9-3. 令和5年度環境目標とその実績評価	P14
9-4. 取組結果ならびに評価、および次年度の取組	P14
10.八代支店の環境活動取組	
10-1. 中期環境目標	P15
10-2. 環境活動計画	P15
10-3. 令和5年度環境目標とその実績評価	P15
10-4. 取組結果ならびに評価、および次年度の取組	P15
11.代表者による全体の評価と見直し	P16
12.環境関連法規等の遵守および評価の結果、ならびに違反・訴訟等の有無	P17
13.環境活動の紹介	
本社・植木事業本部・菊池支店・有明支店・八代支店	P18

1.経営理念・環境経営方針

経営理念

我々は、全社員の英知を結集し、高品質の施設の施工・サービスを提供することによって快適な環境を創り、社会貢献を目指すものである。

我々は、人を愛し・会社を愛する者の集団であり、
国を愛し、地球を愛し、平和を願い社員の幸福の実現を目指すものである。

我々は、次世代の子供たちのために地球環境を考えます。

環境経営方針

熊本利水工業株式会社は、地球環境保全が現代社会の最重要課題の一つであることを認識し、

環境経営の継続的改善に努め、持続可能な社会と循環型社会の構築に貢献します。

1.当社では、環境負荷の低減を図るため、以下の項目に取組み、環境保全に努めます。

- 1) CO2(二酸化炭素)排出量の削減
- 2) 産業廃棄物排出量の削減
- 3) 水使用量の削減
- 4) 化学物質の使用の種類を把握し、管理体制を強化します
- 5) グリーン購入を積極的に推進します

2.環境に配慮した自然エネルギーへの取組

太陽光発電システム機器の販売促進への取組

～環境に配慮した事業を強化し、CO2排出量の削減につなげます～

3.すべての事業活動において環境保全を念頭に置き業務作業を行います

4.環境関連の法規制を遵守します

5.この環境経営方針を全社員に周知し、全社員で環境保全に取組みます。

制定:平成20年	3月 1日	改訂:平成30年	10月 1日
改訂:平成22年	6月 1日	改訂:令和 2年	12月 15日
改訂:平成23年	5月 31日	改訂:令和 4年	6月 1日
改訂:平成24年	12月 14日	改訂:令和 6年	6月 1日
改訂:平成28年	7月 28日		

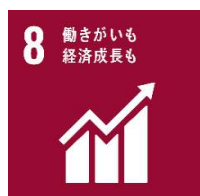


RISUI

代表取締役

熊本利水工業株式会社

田中 祐治



2.会社概要

事業者名 **熊本利水工業株式会社**

代表取締役 田中 祐治

設立 1983年(昭和58年)

令和5年度売上高	¥1,295,700,983	工事件	94 件	期首期末 期首6月 期末5月	従業員数	55 名
----------	----------------	-----	------	----------------	------	------

本社所在地 熊本県熊本市北区大窪4丁目2番4号

環境管理責任者 吉田 剛健

レポート発行責任者 吉川 圭二

◆建設部門 事業内容

管工事	プラント工事
冷暖房、空気調和、給排水、衛生等のための設備を設置し、または金属製の管を使用して水、油、ガス、水蒸気等を配送するための設備を設置する工事。 	下水処理場、各種製造工場の各種機器据付、排水大型ポンプ、各種プラント施設に関わる大型ポンプ配管工事。 
さく井・さく泉工事	電気工事
井戸掘削、温泉掘削および揚水、揚湯設備に関する工事全般。 	送電線、配電盤、電灯、電力機器等の設備工事を行う専門工事。 
水道施設工事	建築工事
水道、簡易水道施設に関わる構造物の築造、および配水管布設工事。 	公共施設その他一般建築の設計・施工 

◆環境部門 事業内容

太陽光発電システム工事	水景施設設計施工
太陽光のエネルギーを利用したソーラーシステム、エコキュートやIHヒーター等のオール電化工事の販売、施工。 	公園等の水景施設に関する器具製作、機器据付、および配管工事。 

水処理機器の作製・販売	
製缶加工品および配管プレハブ加工品の作製。 	

3.認証登録の対象組織・活動



2000年に建設部門の
品質に関する国際規格
「ISO9001」を取得。



”環境も品質の一部”として
エコアクション21に取り組んで
います

《適用する製品、プロセスサービス》
管工事、機械器具設置工事、さく井および電気工事に関わる設計、施工

熊本利水工業株式会社グループ

◎エコアクション21認証登録対象取組事業所

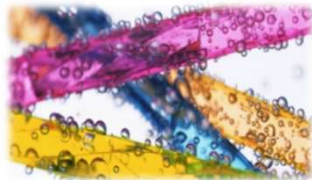
	名称	住所	電話番号
◎	本社	熊本県熊本市北区大窪4丁目2番4号	096-345-1231
	業務内容	・熊本利水工業全体の管理運営	
◎	植木事業本部	熊本県熊本市北区植木町滴水140番地5	096-272-5527
	業務内容	・管、プラント、さく井・さく泉、電気、水道施設、土木、建築、太陽光発電システム工事、水景施設設計施工、水処理機器の作製・販売	
◎	菊池支店	熊本県菊池市泗水町住吉2779番地8	0968-23-2511
	業務内容	・菊池管轄の窓口	
◎	有明支店	熊本県玉名市岩崎964番地	0968-57-8554
	業務内容	・玉名管轄の窓口	
◎	八代支店	熊本県八代市旭中央通10番地9	0965-37-8221
	業務内容	・八代管轄の窓口	

関連会社(エコアクション21認証登録対象外、但し取組は共に行う)

	アクアセック有限会社	熊本県熊本市北区大窪4丁目2番4号	096-345-1261
	業務内容	・ろ過器の製作、施工販売	

水と、人と、環境と、RISUI。

熊本利水工業株式会社は、「水」に関わる事業からはじまり、
快適な環境の創造や、社会とのつながり、地球環境とのつながりを続けてまいりました。
これからも各分野の事業において、よりよい社会貢献を目指してまいります。



品質とRISUI。

熊本利水工業株式会社は、創業以来「お客様第一」の姿勢で品質向上の努力を
続けてまいりました。

これからも全ての事業の、すべてのプロセスで、全社員が一丸となって
品質の確保、向上に取り組んでまいります。

4.実施体制

熊本利水工業株式会社 令和5年度 エコアクション21環境管理実施体制

代表取締役	役割
田中 祐治	・環境経営に関する統括責任者 ・環境目標、活動計画の承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技術者を用意

環境管理責任者	
環境管理委員長 吉田 剛健	・システムの総責任者としての役割権限を、他の責任に関わらずに持つ ・システムの実績を代表者に報告 ・各部門の行動要件の方針を決定する

環境管理副責任者	
環境管理副委員長 吉川 圭二	・システムの適合性把握 ・運用状況を監査 ・熊本利水工業株式会社としての全体レポートの作成

環境管理委員会 (環境管理委員長、環境管理副委員長、各部門リーダー)		
・部門毎の計画の立案	・実施状況の確認、記録、是正	・作業教育の実施

本社	
管理部・営業部・太陽光発電システム事業部・建築事業部	
リーダー	本社統括責任者
サブリーダー	リーダーのサポート
各担当	電力使用量の削減 ガソリン使用量の削減 一般廃棄物量の削減 水使用量の削減 グリーン購入率の向上
サポート	活動全体の補助

植木事業本部	
リーダー	植木支店統括責任者
サブリーダー	リーダーのサポート
各担当	電力使用量の削減 ガソリン使用量の削減 軽油使用量の削減 灯油使用量の削減 水使用量の削減 一般廃棄物量の削減 産業廃棄物のリサイクル率の向上 化学物質使用量管理
サポート	活動全体の補助

菊池支店	
リーダー	菊池支店の統括
担当	電力使用量の削減 一般廃棄物量の削減 水使用量の削減

有明支店	
リーダー	有明支店の統括
担当	電力使用量の削減 一般廃棄物量の削減 水使用量の削減

八代支店	
リーダー	八代支店の統括
担当	電力使用量の削減 一般廃棄物量の削減 水使用量の削減

全従業員	
・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決定事項を守り、自主的かつ積極的な環境活動への参画 ・環境改善への意見提案や異常発生時の上司への報告	

5.全部門目標と環境管理委員長の各部門ごとのアプローチ

5-1

令和5年度 全部門目標 (令和5年6月1日～令和6年5月31日)

項目	環境活動	単位	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標
CO2排出量	電力使用量(実数単位)	kWh	50,905	50,396	49,892	49,393
	電力使用量(原単位)	kWh/売上高	25.12	24.87	24.62	24.37
	ガソリン使用量(実数単位)	L	23,695	23,458	23,223	22,991
	ガソリン使用量(原単位)	L/売上高	11.69	11.58	11.46	11.35
	軽油使用量	L	12,719	12,592	12,466	12,341
	灯油使用量	L	187	185	183	181
	CO2排出量(実数単位)	kg-CO2	102,547	101,522	100,506	99,501
	CO2排出量(原単位)	kg-CO2/売上高	50.61	50.10	49.60	49.10
産廃	一般廃棄物量	kg	2,216	2,194	2,172	2,150
	再資源化量	kg	53,980	53,440	52,906	52,377
	産業廃棄物リサイクル率の向上	%	87	95	95	95
その他	水使用量(実数単位)	m ³	340	337	333	330
	水使用量(原単位)	m ³ /人数	6.30	6.23	6.17	6.11
	グリーン購入の推進	%	76	77	78	78
	化学物質の管理	-	適正管理			
	環境美化活動(清掃作業)	回(年次)	1	1	1	1

※CO2排出係数 0.406(令和5年度 九州電力発表)kg-CO2/kWh 換算

環境管理委員長のエコアクション21活動へのアプローチに向けた取組の方向性

本社	環境に配慮するという意識を持つことを継続することで、これまで通り環境活動に取組み、結果の向上に努める。基本的な節制や適性管理の徹底を共有しCO2排出量減に取組む。
植木事業本部	現場の種類や数によって各項目の数字が変動するが、現場の整理整頓が環境活動だけではなく安全衛生の面からも求められるため、継続して改善に努めていくものとする。
菊池支店	継続して活動に取り組んでいる。今後も活動、意識を継続して環境活動の向上に努める。
有明支店	継続して活動に取り組んでいる。今後も活動、意識を継続して環境活動の向上に努める。
八代支店	環境、活動への意識を定着させ、現状を把握し改善に努め継続していく。

令和5年度取組結果

環境負荷項目	単位	実数単位		差異	達成率 (%)	単位	原単位	
		令和5年度目標	令和5年度実績				令和5年度目標	令和5年度実績
電力使用量	kWh	50,396	51,520	↑ 1,124	97.8	kWh/売上高	24.87	39.76
ガソリン使用量	L	23,458	19,969	↓ 3,489	117.5	L/売上高	11.58	15.41
軽油使用量	L	12,592	21,960	↑ 9,368	57.3	L/売上高	-	-
灯油使用量	L	185	141	↓ 44	131.5	L/売上高	-	-
CO2排出量	kg-CO2	101,522	124,214	↑ 22,692	81.7	kg-CO2/売上高	50.10	95.87
一般廃棄物量	kg	2,194	2,097	↓ 97	104.6	-	-	-
産業廃棄物リサイクル率	%	95	92	↓ 3	96.7	-	-	-
水使用量	m ³	337	413	↑ 76	81.5	m ³ /人	6.23	7.51
化学物質の管理	-	適正管理		-	-	-	適正管理	
グリーン購入率	%	77	79	↑ 3	103.4	-	-	-

令和5年度売上高 ￥ 1,295,700,983 令和5年度工事件数 94 件

令和5年度評価と次年度への取組

【評価基準】101%以上:◎ 100~80%:○ 79~50%:△ 49%以下:×

項目		評価	判定
電力使用量の削減	評価	本社および各支店は減少または横ばいだったが、植木事業本部で年度末前後の繁忙期に使用量が増加している。	○
	次年度	業務改善による残業の削減。空調機の温度設定管理。未使用時は照明の消灯、事務機器の電源OFF	
ガソリン使用量の削減	評価	目標達成できた。遠方の工事現場の減少と、古い車両の入替が使用料の減少につながった。	◎
	次年度	無駄なアイドリングの禁止。車両の無駄な使用をしてないかの確認(リモートで済むならリモートで)	
軽油使用量の削減	評価	工事現場での重機の使用頻度が高かったため使用量が増加	△
	次年度	工事現場では工程管理を適正に行い、使用頻度を抑える努力をする。	
灯油使用量の削減	評価	目標達成できた。工事現場での暖房器具の使用が減少したため	◎
	次年度	断熱の工夫や室内温度設定を管理し、使用量を削減	
CO2排出量の削減	評価	項目によりばらつきはあるが、全体的には削減できている。	○
	次年度	各社員が毎月のエネルギー使用量を把握し、目標達成	
一般廃棄物量の削減	評価	全事業所で排出量が減少しており、目標達成できた。	◎
	次年度	各事業所で削減の取組ができているが更なる削減を目指す。	
産業廃棄物リサイクル率の向上	評価	敷地内に廃棄物の分類をする場所を確保し取組ができている。	○
	次年度	廃棄物の分類だけではなく、排出量削減の工夫にも取り組む。	
水使用量の削減	評価	本社および各支店で取組の成果が出ている。	○
	次年度	各社員が節水の意識をもって取組を継続する。	
化学物質の管理	評価	適正に管理できている。	-
	次年度	購入時の記録管理を徹底する。使用量及び保管量の確認記録の徹底。	
グリーン購入率の向上	評価	取組がきちんとできていて、目標達成できている。	◎
	次年度	購入品の在庫管理を適切に実施しながら、購入率の向上を図る。	

6. 本社の環境取組活動

6-1. 中期環境目標

事業年度: 令和5年6月1日～令和6年5月31日					
項目	単位	令和4年度 (実績・基準)	令和5年度 (目標)	令和6年度 (目標)	令和7年度 (目標)
電力量	kWh	19,828	19,630	19,431	19,233
	kWh/売上高	9.78	9.68	9.58	9.49
ガソリン使用量	L	6,401	6,337	6,273	6,209
	L/売上高	3.16	3.13	3.10	3.07
CO2排出量	kg-CO2	14,850	14,702	14,553	14,405
	kg-CO2/百万円	8.67	8.58	8.50	8.41
一般廃棄物量	kg	82.7	81.9	81.0	80.2
水使用量	m ³	-			
グリーン購入率	%	76.2	77.0	77.7	78.5
太陽光発電システム機器販売	件	32	32	33	33

※水使用量については、合同事務所のため数値的に把握が困難

6-2. 環境活動計画

項目	具体的活動内容
電力使用量の削減	・エアコンや電気の消し忘れが無いように毎月呼びかける ・フロア内でも使用しないエリアの電気を消す。 ・毎月消費電力と金額の報告を本社全員へ通達し、節電を呼びかける。
ガソリン使用量の削減	・酷暑につき、エアコン等の使用は避けられないが、運転中以外で車内に長時間滞在する必要はないので、長時間のアイドリングはやめるよう呼びかける
一般廃棄物量の削減	・文書類のペーパーレス化促進(社内書類のPDF化) ・裏面使用可能な紙は再利用 ・ゴミ分別/飲食殻の乾燥による廃棄物の軽量化 ・個人ゴミは各自持ち帰り処分とする。
水使用量の削減	・節水を呼び掛ける張り紙等で意識付けをする。 ・手洗いや洗い物時、過剰に水を出さず、こまめに栓を閉める。 ・栓の閉め忘れの確認を行う。
グリーン購入率の向上	・ASKULに発注先をまとめ、事務用品(コピー用紙やファイルほか)、トイレットペーパーを中心にグリーン商品の購入を推進する。 ・現場で使用する養生テープ、乾電池もグリーン商品なのでASKULに発注する。
太陽光発電システム機器の 販売促進	・二酸化炭素排出量削減のため、自家消費促進のための休眠顧客へのメーカー主催の蓄電池などの説明会参加を促す。 ・戸建て、企業問わず電気の自家消費・自給自足の重要性をお伝えし、太陽光発電のシミュレーション提案を強化する。

6-3. 令和5年度環境目標とその実績評価

事業年度: 令和5年6月1日～令和6年5月31日

項目	実数単位 原単位	令和4年度 (実績・基準)	令和5年度 (目標)	令和5年度 (実績)	目標達成率
電力量	kWh	19,828	19,630	17,313	113 %
	kWh/売上高	9.78	9.68	13.36	72 %
ガソリン使用量	L	6,401	6,337	3,360	189 %
	L/売上高	3.16	3.13	2.59	121 %
CO2排出量	kg-CO2	14,850	14,702	14,460	102 %
	kg-CO2/売上高	8.67	8.58	11.16	77 %
一般廃棄物量	kg	82.70	81.87	80.00	102 %
水使用量	m ³	-			
グリーン購入率	%	76.20	76.96	79.36	103 %
太陽光発電システム機器販売	件	32	32	26	80 %

※水使用量については、合同事務所のため数値的に把握が困難

6-4. 取組結果ならびに評価、および次年度の取組

項目	評価と次年度への取組		判定
電力使用量の削減	評価	目標達成してる	◎
	次年度	引き続き節電する	
ガソリン使用量の削減	評価	管理台数の減少につき使用量は減少	◎
	次年度	引き続きエコ運転を心がける	
一般廃棄物量の削減	評価	前年より増加している。ペーパーレスの継続と分別徹底による削減努力が必要	◎
	次年度	分別の徹底 個人ゴミは各自持ち帰ることを再度徹底する	
グリーン購入率の向上	評価	年間の発注金額総額は13万程増加しているが、それに伴うグリーン商品に該当する発注が増えているので率が上がった。	◎
	次年度	今年度同様、価格も重視しながら、同等のものであればグリーン商品を発注を推進する。	
太陽光発電システム機器の販売促進	評価	太陽光発電システムの新設工事が、4年度の13件に対し、5年度は1件だったため全体の件数が減少した。	○
	次年度	休眠顧客の掘り起こしを行い、メーカー主催の説明会参加促進を強化し新設工事増加をはかる。	

7.植木事業本部(事務所、工場)の環境活動取組

7-1. 中期環境目標

事業年度: 令和5年6月1日～令和6年5月31日					
項目	単位	令和4年度 (実績・基準)	令和5年度 (目標)	令和6年度 (目標)	令和7年度 (目標)
電力量	kWh	21,277	21,064	20,851	20,639
	kWh/工事件数	226	224	221	219
ガソリン使用量	L	17,294	17,121	16,948	16,775
	L/工事件数	184	182	180	178
軽油使用量	L	12,719	12,592	12,465	12,338
灯油使用量	L	187	185	183	181
CO2排出量	kg-CO2	83,258	82,425	81,593	80,760
	kg-CO2/工事件数	886	877	868	859
一般廃棄物量	kg	2,098	1,888	1,699	1,529
産業廃棄物のR率	%	87	98	98	98
水使用量	m ³	275	272	270	267
化学物質の管理	適正管理				

7-2. 環境活動計画

項目	記入者	具体的活動内容
電力使用量の削減	担当者	・エアコンの温度設定を確保する。 ・休憩時間の消灯に努める。 ・外出時はパソコンの電源を切る。 ・使用しないプリンター等は電源を切る。
ガソリン使用量の削減	担当者	・Garoonを使用し、車輛/燃料の管理を徹底する。 ・車輛の定期点検行い、車輛の良好状態を維持する。 ・室温設定を下げ、空気循環や熱を逃がさない工夫を行うことで灯油量を削減する。
軽油使用量の削減		
灯油使用量の削減		
一般廃棄物量の削減	担当者	・個人ゴミ持ち帰りの呼びかけの徹底。 ・生ごみは乾燥させてから廃棄する。 ・紙ごみ等リサイクルできるものは一般廃棄物として処分しない。
産業廃棄物の リサイクル率向上	担当者	・分類の細分化 ・分類することへの認識教育 ・保管場所の確保
水使用量の削減	担当者	・使用後の止水確認、漏水チェック ・水回りに貼り紙などで節水を呼び掛ける。 ・シャワー室が増えたので閉め忘れを確認する。
化学物質の管理	担当者	・購入時の記録管理を徹底する。 ・使用量及び保管量の確認記録の徹底。 ・廃棄時の処理先及びマニフェストの確認を行い記録を保管する。

植木事業本部

7-3. 令和5年度環境目標とその実績評価

事業年度：令和5年6月1日～令和6年5月31日

項目	実数単位 原単位	令和4年度 (実績・基準)	令和5年度 (目標)	令和5年度 (実績)	目標達成率
電力量	kWh	21,277	21,064	24,504	86 %
	kWh/工事件数	226	224	261	86 %
ガソリン使用量	L	17,294	17,121	16,609	103 %
	L/工事件数	184	182	177	103 %
軽油使用量	L	12,719	12,592	21,960	57 %
灯油使用量	L	187	185	141	131 %
CO2排出量	kg-CO2	83,258	82,425	105,814	78 %
	kg-CO2/工事件数	886	877	1,126	78 %
一般廃棄物量	kg	2,098	1,888	1,990	95 %
産業廃棄物のR率	%	87.2	98.0	91.9	94 %
水使用量	m ³	275.0	272.3	358.0	76 %
化学物質の管理	適正管理				-

7-4. 取組結果ならびに評価、および次年度の取組

項目	評価と次年度への取組		判定
電力使用量の削減	評価	工場の人が居ない時の消灯が出来ていなかった。	○
	次年度	こまめな消灯に気を付ける(パソコン、工場)	
ガソリン使用量の削減	評価	県外現場の減少、車輛の入替が削減に繋がった。	◎
	次年度	引き続き車輛の入替を進め、定期点検により車輛の良好な状態を維持することに努める。	
軽油使用量の削減	評価	現場の重機燃料が主になっていると考えられる。	△
	次年度	現場担当者へ重機以外の選択肢を模索してもらい、削減に繋げる。	
灯油使用量の削減	評価	現場での使用が減少したことが削減に繋がった。	◎
	次年度	室温設定の管理を行い、空気循環や熱を逃がさない工夫を行うことで事務所内の灯油量を削減する。	
一般廃棄物量の削減	評価	個人ゴミ持ち帰りの呼びかけが削減へ繋がった。	○
	次年度	目標値に近づけるよう引き続き呼びかけ、掲示物等での周知を行う。	
産業廃棄物のリサイクル率向上	評価	混合産廃の量の減少はできたが、分類を的確に	○
	次年度	混合産廃の分類強化	
水使用量の削減	評価	水の節水に努力できていたと思う。	○
	次年度	引き続き節水に努力する。	
化学物質の管理	評価	購入・搬入が無く、廃棄物処理の必要が無かった。	-
	次年度	購入・搬入の把握を確実にし適正処理に努める。	

8. 菊池支店の環境活動取組

8-1. 中期環境目標

事業年度: 令和5年6月1日～令和6年5月31日					
項目	単位	令和4年度 (実績・基準)	令和5年度 (目標)	令和6年度 (目標)	令和7年度 (目標)
電力量	kWh	2,093	2,072	2,051	2,030
CO2排出量	kg-CO2	948	939	929	920
一般廃棄物量	kg	3.70	3.66	3.63	3.59
水使用量	m ³	37.00	36.63	36.26	35.89

8-2. 環境活動計画

項目	記入者	具体的活動内容
電力使用量の削減	担当者	前回、電気の消し忘れが多かったので、口頭と指差し確認。
一般廃棄物量の削減	担当者	裏紙をメモ用紙、コピー用紙で再利用。 使用済みカレンダーを茶殻包み用で使用。
水使用量の削減	担当者	蛇口をひねる際に勢いよく出すことがあるので、緩く出す様印をつけた。

8-3. 令和5年度環境目標とその実績評価

事業年度: 令和5年6月1日～令和6年5月31日					
項目	単位	令和4年度 (実績・基準)	令和5年度 (目標)	令和5年度 (実績)	目標達成率
電力量	kWh	2,093	2,072	2,055	101 %
CO2排出量	kg-CO2	948	939	834	113 %
一般廃棄物量	kg	3.70	3.66	2.80	131 %
水使用量	m ³	37.00	36.63	34.00	108 %

8-4. 取組結果ならびに評価、および次年度の取組

項目	評価と次年度への取組		判定
電力使用量の削減	評価	R5年12月末～R6年1月末まで事務所のエアコンが使用できなかった。(故障) 買い替える間、セラミックヒーターとサーキュレーターを同時に使用。	○
	次年度	サーキュレーターをうまく活用していくこと。(冷暖房、他) 電気の消し忘れがないか口頭、指差し確認。	
一般廃棄物量の削減	評価	仕事の封筒カットごみ減っており、個人のごみも継続して持ち帰る。	◎
	次年度	裏紙や使用済みカレンダー再利用。	
水使用量の削減	評価	印をつけたことにより、出し過ぎないことを意識するようになった。	◎
	次年度	水の出し過ぎ、蛇口締め確認。	

9.有明支店の環境活動取組

9-1. 中期環境目標

令和5年6月1日～令和6年5月31日

項目	単位	令和4年度 (実績・基準)	令和5年度 (目標)	令和6年度 (目標)	令和7年度 (目標)
電力量	kWh	3,801	3,763	3,725	3,687
CO2排出量	kg-CO2	1,722	1,705	1,687	1,670
一般廃棄物量	kg	17.60	17.42	17.25	17.07
水使用量	m ³	21.00	20.79	20.58	20.37

9-2. 環境活動計画

項目	記入者	具体的活動内容
電力使用量の削減	担当者	スイッチの切り忘れ確認。エアコンの温度調節・扇風機の活用。昼休みは室内消灯。複合機を使用しない時は節電機能を使用。
一般廃棄物量の削減	担当者	使用済みの紙を再利用する。珈琲ガラや生ゴミは乾燥させてから捨てる。個人のごみは持ち帰りを徹底する。資源ごみは無料で回収箱を利用する。
水使用量の削減	担当者	水の出し過ぎに注意する。節水シールで周知する。手洗い時の水量を必要最低限にする。

9-3. 令和5年度環境目標とその実績評価

事業年度: 令和5年6月1日～令和6年5月31日

項目	単位	令和4年度 (実績・基準)	令和5年度 (目標)	令和5年度 (実績)	目標達成率
電力量	kWh	3,801	3,763	3,805	99 %
CO2排出量	kg-CO2	1,722	1,705	1,545	110 %
一般廃棄物量	kg	17.60	17.42	14.70	119 %
水使用量	m ³	21.00	20.79	16.00	130 %

9-4. 取組結果ならびに評価、および次年度の取組

項目	評価と次年度への取組		判定
電力使用量の削減	評価	天井が低く輻射熱により室内温度が高くなるため、夏場は冷房使用時間が長い。昼休み時の消灯、扇風機の活用をし温度調整している。猛暑日が続き、エアコンの使用率は高くなった。	○
	次年度	SDGsを心がけ、電力使用量の削減を目指す。	
一般廃棄物量の削減	評価	資源ごみは無料回収箱へ持っていき、生ゴミの水分を乾燥させるなど燃えるごみの容量軽減を意識する努力をした。	◎
	次年度	SDGsを心がけ、資源の有効活用やCO2排出量の削減を目指す。	
水使用量の削減	評価	鉄サビが出るので毎朝水を流すが、無駄にせず植物への水やりに流用している。必要以上の量を出さないよう努めている。	◎
	次年度	SDGsを心がけ、使用量の削減を目指す。	

八代支店

10.八代支店の環境活動取組

10-1. 中期環境目標

事業年度: 令和5年6月1日～令和6年5月31日

項目	単位	令和4年度 (実績・基準)	令和5年度 (目標)	令和6年度 (目標)	令和7年度 (目標)
電力量	kWh	3,906	3,867	3,828	3,789
CO2排出量	kg-CO2	1,769	1,752	1,734	1,716
一般廃棄物量	kg	14.20	14.06	13.92	13.77
水使用量	m³	7.00	6.93	6.86	6.79

10-2. 環境活動計画

項目	記入者	具体的活動内容
電力使用量の削減	担当者	四方を広い窓に囲まれている上、連日の猛暑でエアコン可動時間が長かったが設定温度をこまめに変え、照明も部分的につけるなどして消費電力を抑えるよう努力する。
一般廃棄物量の削減	担当者	カッティングシート作成時に出るゴミはなかなか減らせないので、個人のゴミは各自持ち帰り、ペットボトルはラベルとキャップを外して水平リサイクルに取り組む。
水使用量の削減	担当者	これまで通り水を出しっぱなしにしない等、節水に取り組む。

10-3. 令和5年度環境目標とその実績評価

事業年度: 令和5年6月1日～令和6年5月31日

項目	単位	令和4年度 (実績・基準)	令和5年度 (目標)	令和5年度 (実績)	目標達成率
電力量	kWh	3,906	3,867	3,843	101 %
CO2排出量	kg-CO2	1,769	1,752	1,560	112 %
一般廃棄物量	kg	14.20	14.06	9.90	142 %
水使用量	m³	7.00	6.93	5.00	139 %

10-4. 取組結果ならびに評価、および次年度の取組

項目	評価と次年度への取組		判定
電力使用量の削減	評価	消費電力の最も大きいエアコンの設定温度と使用時間に気をつけ、前年度より使用量を削減することができた。	○
	次年度	エアコン・照明・パソコン等をこまめに消すなどして削減を意識する。	
一般廃棄物量の削減	評価	個人的に出たゴミは各自で持ち帰り、コピー時の裏紙使用を徹底することでより削減できるよう努力する。	◎
	次年度	SDGsを意識しより削減できるようにする。	
水使用量の削減	評価	常に節水を心掛けた。	◎
	次年度	今年度同様の取り組みを継続する。	

11.代表者による全体の評価と見直し

項目	コメント
全体	社会活動はコロナ感染拡大以前の状況に戻ったが、企業活動に様々な変化ももたらしたと思う。特に社会の環境意識の高まりは大きくなった。幸い当社はエコアクション21を通して、各目標を設定して取り組んでいるが、社会ではそれだけでは終わらず、環境経営という切り口でも企業活動を求められている。今年度もエコアクション21の環境目標を確実に取り組んで、企業活動の増大とともに、エネルギー消費量も増えると思われるので、再生可能エネルギーの利用を含めて、エネルギー使用量の減少に努めて行く予定である。
本社	営業人員の増加や企業活動により、各使用量はこれから増加する傾向にあると思われたが、ほぼ、目標値以下の数値を達成している。しかしながら、電気代、燃料代と値上がり傾向は続くと思われるので、さらに使用量を下げる目標を検討お願いします。
植木事業本部	植木支店においては目標値と実績値の差異は、内的要因と外的要因のものに区別できる。事務所内の各使用量は目標を持って取り組めるが、現場が増えると燃料系の増加はやむを得ない。また、働き方改革のため、現場への直行直帰も増えてくるので、しっかりとしたルール化も必要になってくると思われる。今後、人員と工事件数の増加を行って行くので、引き続き、目標に向かって取り組んでもらいたい。また、再生可能エネルギーの利用を含めて、今後、計画して行く予定である。
菊池支店	環境目標を常に意識をしながら、細かいところにも注意しながら、各使用量の削減に努力している。引き続き、各目標値に達成できるよう継続して励んでいただきたい。
有明支店	エアコンが不調で大変だったと思います。毎回ですが、活動内容を見て、努力している様子が分かります。次年度は全目標が達成できるよう励んでいただきたい。
八代支店	営業活動が活発になると、人の出入り等で電気使用量等、増加しますが、その点は上手にコントロールをして、次回も、全目標値に達成できるよう継続して励んでいただきたい。
環境方針	・EA21 建設業者向けガイドライン2017年度版に対応済
実施体制	・各部門の組織責任者を環境統括に置いて責任者とする。
その他	・特に無し

令和6年10月31日
熊本利水工業株式会社
代表取締役

田中祐治

12.環境関連法規等の遵守および評価の結果、ならびに違反・訴訟等の有無

確認期間:令和5年6月1日～令和6年5月31日

凡例:◎・直接該当遵守義務 ○・理解レベル遵守 △・努力レベル --該当無し
部門別適応有無および各担当者

分類		法令名	本社	植木事業本部	菊池支店	有明支店	八代支店	遵守状況
基本	1	環境基本法 環境関連法規の中心となる法律	○	○	○	○	○	○
	2	グリーン購入法 ・物品購入に際し出来る限り環境物品を購入する	○	○	○	○	○	○
	3	地球温暖化対策推進法 ・地球温暖化対策を意識した節電、省エネの心がけ	○	○	○	○	○	○
廃棄物	4	廃棄物処理法 (許可業者の処理委託) 産業廃棄物の適正処理に関する法律						
		・一般廃棄物の適正処理	○	○	○	○	○	○
		・産業廃棄物の保管明示	-	◎	-	-	-	○
		・産業廃棄物のマニフェスト発行と確認	-	◎	-	-	-	○
	5	フロン排出抑制法 ・第一種特定製品の簡易点検を行う	◎	◎	-	◎	-	○
リサイクル	6	再資源利用省令 ・副産物等の発生抑制、再生資源等の利用を推進する	-	◎	-	-	-	○
	7	容器包装リサイクル法 ・市町村が定めた分別の基準に従い、容器包装廃棄物も適正に分別排出する	○	○	○	○	○	○
	8	建設リサイクル法 ・建設工事におけるリサイクル・処理の推進	○	◎	-	-	-	○
	9	自動車リサイクル法 ・社用車の廃車時には適正処理を行う	◎	◎	-	-	-	○
その他	10	労働安全衛生法 ・従業員の安全リスクの軽減	○	○	○	○	○	○
	11	騒音規制法(圧縮機) ・原動機の定格出力2.25kW以上のものを使用する際は事前に届出る	○	○	-	-	-	○
		・浄化槽業者との契約	-	◎	-	-	-	○
	12	浄化槽法(し尿処理)	-	◎	-	-	-	○
	13	消防法 ・火災を予防し、生命、身体及び財産を火災から保護	○	◎	○	○	○	○
	14	排出ガス対策型建設機械普及促進に関する規程 ・現場の作業環境の改善を考え、機械化施工、大気環境に与える負荷の低減を目的させる	-	○	-	-	-	○
		化学物質管理促進法 ・化学物質の自主的な管理の改善と環境保全上の支障の未然の防止	-	○	-	-	-	○
	16	熊本県地下水保全条例 ・大口地下水採取の届出、採取量の報告	-	○	-	-	-	○

※過去3年間違反、訴訟無し

13.環境活動の紹介

本社・植木事業本部・菊池支店・有明支店・八代支店

本社 (管理部・営業部・太陽光事業部)	活動内容紹介 清掃活動ボランティア
	
植木事業本部 (工事部・管理部)	ゴミの分別
	
菊池支店	節電活動 シールによる意識付け
	
有明支店	緊急事態訓練
	
八代支店	
	

水と、人と、環境と、



RISUI。

www.k-risui.jp